



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 ワイエイシー株式会社  
 コード番号 6298 URL <http://www.yac.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百瀬 武文  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 宮本 忠泰 TEL 042-546-1161  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 平成24年12月7日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	10,919	65.8	357	96.3	292	79.5	195	△36.7
24年3月期第2四半期	6,584	42.3	181	△49.2	162	△54.9	308	177.6

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 164百万円 (△51.9%) 24年3月期第2四半期 342百万円 (928.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	21.91	—
24年3月期第2四半期	33.41	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	19,452	11,011	55.8
24年3月期	24,735	10,938	43.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 10,861百万円 24年3月期 10,780百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年3月期	—	10.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	37.3	300	65.2	250	66.4	150	△56.3	16.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

第1四半期連結会計期間より、減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	9,674,587株	24年3月期	9,674,587株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	755,252株	24年3月期	755,252株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	8,919,335株	24年3月期2Q	9,247,428株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー報告書を受領しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、一段と減速感が強まり、先行きの不透明な状況で推移しました。米国では雇用や住宅問題に改善の兆しがあるものの緩やかな回復基調に止まり、欧州では財政問題が実体経済に深刻な影響を及ぼし、景気の停滞感が強まっております。一方、中国をはじめ新興国においては欧州向け輸出の減速に加え、投資や消費の伸びも低下しており、経済成長が鈍化しております。

日本経済は、震災からの復興需要やエコカー減税などにより堅調だった個人消費も夏場以降伸び悩み、世界経済の減速や円高を背景に輸出が減少し、厳しい状況が続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループは今後とも成長基調にあるアジア地域を中心に、高付加価値商品の提案型営業を展開し、グループ会社間の協調を図り、売上及び収益の拡大に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高109億19百万円（前年同四半期比65.8%増）、営業利益3億57百万円（前年同四半期比96.3%増）、経常利益2億92百万円（前年同四半期比79.5%増）、四半期純利益1億95百万円（前年同四半期比36.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## (産業用エレクトロニクス関連事業)

ハードディスク関連装置分野では、パソコン、カーナビ、レコーダー等の需要停滞に伴う設備投資の遅延等により厳しい状況にありましたが、パーニッシャー装置、UVキュア装置、そして搬送装置等の拡販に努め、業績は概ね底堅く推移しました。

半導体関連装置分野では、新興国の成長率の鈍化により自動車・デジタル家電等に係る半導体需要が低迷し、国内外の設備投資の先送りが生じ、業績は低調に推移しました。

液晶関連装置分野では、前期よりずれ込んだ中型装置に加え、パネルの膜質改善を図るアニール装置（スマートフォン・タブレット端末等対応の中型装置）案件が売上に寄与し、業績は堅調に推移しました。

加熱処理装置分野では、スマートフォン・タブレット端末等の需要に支えられ、業績は堅調に推移しました。

太陽電池関連装置分野では、再生可能エネルギーへの期待から需要の増加が予想されましたが、パネルの過剰在庫、設備投資の遅延、そして価格競争等の要因により、業績は低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は103億96百万円（前年同四半期比71.5%増）となり、営業利益は5億70百万円（前年同四半期比50.7%増）となりました。

## (クリーニング関連その他事業)

クリーニング関連その他事業では、クリーニング需要の減少に伴う業界自体の縮小傾向が進む状況の中、国内外の営業を強化するとともに、生産拠点の効率化による一層のコストダウンを図り、売上及び収益の確保に努めました。

これらの結果、当セグメントの売上高は5億23百万円（前年同四半期比0.1%減）となり、営業利益は40百万円（前年同四半期比17.3%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は149億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ52億95百万円減少しました。主な要因は、仕掛品の減少52億93百万円、現金及び預金の減少20億95百万円であり、受取手形及び売掛金の増加24億41百万円であります。固定資産は44億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円増加しました。主な要因は、有形固定資産の増加35百万円であり、無形固定資産の減少12百万円、投資その他の資産の減少11百万円であります。

その結果、総資産は194億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ52億83百万円減少しました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は52億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ47億61百万円減少しました。主な要因は、前受金の減少23億96百万円、支払手形及び買掛金の減少23億76百万円、短期借入金の減少1億93百万円であります。固定負債は31億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億94百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少5億15百万円、社債の減少70百万円であります。

その結果、負債は84億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ53億55百万円減少しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は110億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ72百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金の増加1億6百万円であります。

この結果、自己資本率は55.8%（前連結会計年度末は43.6%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、太陽電池事業分野および半導体事業分野等において、先行き不透明な経済環境による設備投資の見直しが相次ぎ、売上・利益が前回予想を下回る見通しとなりましたので、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成24年11月9日）公表いたしました「平成25年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,733,811	6,638,281
受取手形及び売掛金	4,335,951	6,777,719
商品及び製品	114,186	139,191
仕掛品	6,106,962	813,290
原材料及び貯蔵品	371,756	334,811
繰延税金資産	279,171	231,057
その他	327,768	36,284
貸倒引当金	△5,219	△1,459
流動資産合計	20,264,388	14,969,177
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,254,100	2,258,957
減価償却累計額	△1,629,630	△1,655,133
建物及び構築物（純額）	624,469	603,824
機械装置及び運搬具	212,540	224,026
減価償却累計額	△187,685	△189,090
機械装置及び運搬具（純額）	24,855	34,935
工具、器具及び備品	1,319,548	1,533,122
減価償却累計額	△1,092,049	△1,167,513
工具、器具及び備品（純額）	227,499	365,609
土地	2,374,622	2,374,622
リース資産	54,681	54,681
減価償却累計額	△31,372	△36,699
リース資産（純額）	23,308	17,981
建設仮勘定	601,753	514,800
有形固定資産合計	3,876,509	3,911,774
無形固定資産		
のれん	57,220	49,434
特許権	3,000	1,000
ソフトウエア	48,626	46,865
リース資産	3,990	3,480
電話加入権	13,316	13,316
無形固定資産合計	126,154	114,097
投資その他の資産		
投資有価証券	143,222	131,935
長期貸付金	58	28
繰延税金資産	212,333	201,704
長期滞留債権等	68,209	73,395
その他	123,064	133,859
貸倒引当金	△78,209	△83,395
投資その他の資産合計	468,679	457,527
固定資産合計	4,471,342	4,483,399
資産合計	24,735,730	19,452,576

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,607,967	3,231,801
短期借入金	1,259,750	1,066,749
1年内償還予定の社債	140,880	140,500
リース債務	12,249	12,249
未払法人税等	20,774	34,390
賞与引当金	162,341	142,545
製品保証引当金	50,498	44,257
未払費用	248,425	224,750
前受金	2,442,522	45,859
その他	69,731	310,594
流動負債合計	10,015,139	5,253,698
固定負債		
社債	1,106,510	1,036,450
長期借入金	1,900,371	1,385,004
リース債務	16,400	10,276
繰延税金負債	65,796	65,779
退職給付引当金	637,048	652,854
役員退職慰労引当金	55,655	37,115
固定負債合計	3,781,782	3,187,479
負債合計	13,796,921	8,441,178
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,756,680	2,756,680
資本剰余金	3,582,276	3,582,276
利益剰余金	5,287,754	5,393,974
自己株式	△646,148	△646,148
株主資本合計	10,980,563	11,086,783
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,262	△2,085
為替換算調整勘定	△204,634	△222,821
その他の包括利益累計額合計	△200,372	△224,907
少数株主持分	158,617	149,521
純資産合計	10,938,808	11,011,397
負債純資産合計	24,735,730	19,452,576

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	6,584,768	10,919,532
売上原価	5,329,420	9,474,836
売上総利益	1,255,348	1,444,696
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	406,864	413,657
賞与引当金繰入額	53,780	46,346
福利厚生費	18,536	17,109
賃借料	35,911	37,068
業務委託費	28,815	37,173
研究開発費	109,715	140,474
減価償却費	67,975	69,210
その他	351,786	326,413
販売費及び一般管理費合計	1,073,386	1,087,454
営業利益	181,962	357,241
営業外収益		
受取利息	2,176	2,929
受取配当金	1,602	2,069
受取賃貸料	5,902	4,755
受取保険金	345	3,095
その他	6,052	7,820
営業外収益合計	16,078	20,670
営業外費用		
支払利息	21,523	19,765
為替差損	11,908	60,803
ファクタリング料	29	136
持分法による投資損失	519	650
その他	1,375	4,509
営業外費用合計	35,356	85,863
経常利益	162,684	292,047
特別利益		
負ののれん発生益	201,517	70
特別利益合計	201,517	70
特別損失		
固定資産除売却損	1,983	4,701
段階取得に係る差損	49,513	—
特別損失合計	51,497	4,701
税金等調整前四半期純利益	312,704	287,417
法人税、住民税及び事業税	6,082	38,743
法人税等調整額	△101,326	59,230
法人税等合計	△95,244	97,974
少数株主損益調整前四半期純利益	407,948	189,443
少数株主利益又は少数株主損失(△)	98,999	△5,969
四半期純利益	308,949	195,413

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	407,948	189,443
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,629	△6,562
為替換算調整勘定	△52,097	△18,186
その他の包括利益合計	△65,726	△24,749
四半期包括利益	342,221	164,693
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	243,757	170,878
少数株主に係る四半期包括利益	98,464	△6,184

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	産業用エレクトロ ニクス関連事業	クリーニング関 連その他事業			
売上高					
外部顧客への売上高	6,061,370	523,397	6,584,768	—	6,584,768
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,061,370	523,397	6,584,768	—	6,584,768
セグメント利益	378,330	49,405	427,736	△245,773	181,962

(注) 1. セグメント利益の調整額△245,773千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	産業用エレクトロ ニクス関連事業	クリーニング関 連その他事業			
売上高					
外部顧客への売上高	10,396,517	523,015	10,919,532	—	10,919,532
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,396,517	523,015	10,919,532	—	10,919,532
セグメント利益	570,327	40,847	611,174	△253,933	357,241

(注) 1. セグメント利益の調整額△253,933千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。